

授業科目名	看護研究方法			担当教員	中村 光江、濱元 淳子	
開講年次	3年通年	セメスター	5・6	時間数(単位数)	45 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文(原著)のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。 2. 研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。 3. 研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬計画書を作成できる。 4. 研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。 5. 看護研究論文のクリティークが実施できる。 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護研究の意義と役割 研究の基本的な考え方	講義	予習：テキスト 第1章 A,B,C 精読	1時間	中村	
2	グループワーク 指定論文(特徴・疑問点・私見など)についての個人の意見を共有・深化させる	演習	予習：指定論文の熟読 (特徴・疑問点・私見をまとめておく)	2時間	中村 濱元	
3	論文の種類と読み方 論文検索 論文(研究結果)の活用	講義	予習：テキスト第3章、 第9章精読	1時間	中村	
4	研究プロセスの概観 研究の問い(研究課題) 研究枠組みと仮説	講義	予習：テキスト第2章、第4章精読	1時間	中村	
5	研究デザインの位置づけ 研究デザインの種類	講義	予習：テキスト第5章 精読	1時間	中村	
6	論文の構成 論文の書き方 倫理的配慮	講義	予習：テキスト第1章 D,E, 第9章 C 精読 復習：配布資料の振り返り	1時間	中村	
7	量的研究① データの収集、母集団と標本	講義	予習：テキスト第7章 精読	1時間	濱元	
8	量的研究② データの分析 記述統計	講義	予習：テキスト第8章 精読	1時間	濱元	
9	量的研究③ 推測統計	講義	予習：テキスト第8章 精読	1時間	濱元	
10	質的研究① 質的研究とは 質的研究の特徴	講義	予習：テキスト第10章 精読	1時間	中村	
11	質的研究② 質的研究のデータ 質的研究の課題 質的研究の例	講義	予習：テキスト第10章 精読	1時間	中村	
12	よい論文とは 論文クリティーク	講義	予習：テキスト第9章 精読	1時間	中村	

13	指定論文(量的研究)の個人クリティークをグループ内でまとめる	演習	予習:指定論文の熟読 クリティーク	2時間	中村 濱元
14	指定論文(質的研究)の個人クリティークをグループ内でまとめる	演習	予習:指定論文の熟読 クリティーク	2時間	中村 濱元
15	クリティーク発表	演習	予習:グループで発表の準備	1時間	中村 濱元
16	研究計画書の書き方	講義	予習:テキスト第6章 精読	1時間	中村
17	リサーチクエスションについて熟考・論文検索・教員からの指導①	演習	予習:計画書作成 復習:計画書作成	各 2時間	中村 濱元
18	リサーチクエスションについて熟考・論文検索・教員からの指導②	演習	予習:計画書作成 復習:計画書作成	各 2時間	中村 濱元
19	リサーチクエスションについて熟考・論文検索・教員からの指導③	演習	予習:計画書作成 復習:計画書作成	各 2時間	中村 濱元
20	リサーチクエスションについて熟考・論文検索・教員からの指導④	演習	予習:計画書作成 復習:計画書作成	各 2時間	中村 濱元
21	研究計画書へのフィードバック①	講義	復習:計画書の修正	1時間	中村 濱元
22	研究計画書へのフィードバック②	講義	復習:計画書の修正	1時間	中村 濱元
23	看護研究のプロセスについてのまとめ 計画書を踏まえた倫理的配慮について	講義	予習:全体を振り返り疑問点を明確にしておく	1時間	中村
先行履修科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	南裕子編:看護における研究 第2版. 東京, 日本看護協会出版会, 2017.				
参考文献	坂下玲子他2名:系統看護学講座 別巻 看護研究. 東京, 医学書院, 2016. ビヴァリー M. ヘンリー:看護研究ハンドブックーヘルスケアの質改善のためにー. 東京, 医学書院, 2004. 他、適宜提示する				
メッセージ	本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館でのガイダンスに必ず参加し、国内外の論文データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。 就職後、看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学んでください。				
科目の位置づけ	先行履修科目だけでなく、2年次までに学修したすべての科目を踏まえた統合的な科目である。 3年次のレベルⅣの実習とは卒業研究のテーマを見つけるという点でつながっている。4年次の卒業研究はこの科目で学修した知識を総動員して進めることになる。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
				○	◎
評価方法	定期試験(50%)、クリティークに関する個人レポート(20%) 研究計画書(30%) 注)1~20回は前期に開講し、その講義範囲について前期定期試験を実施する。				